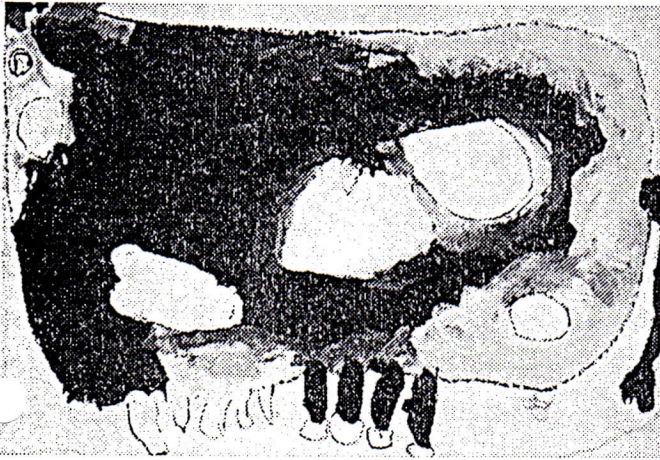
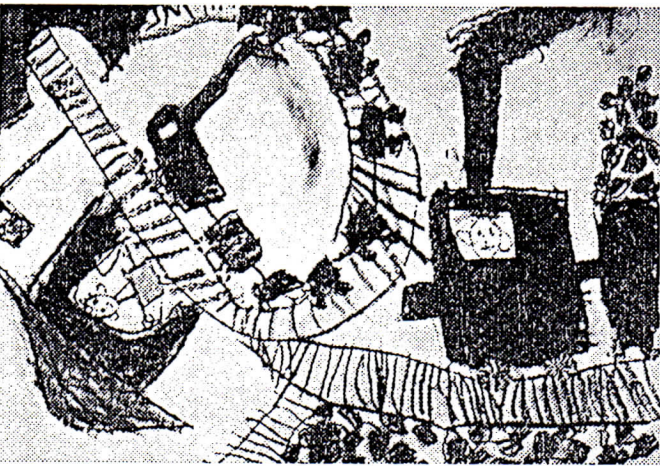


世界
児童画展
播磨から4人特別賞

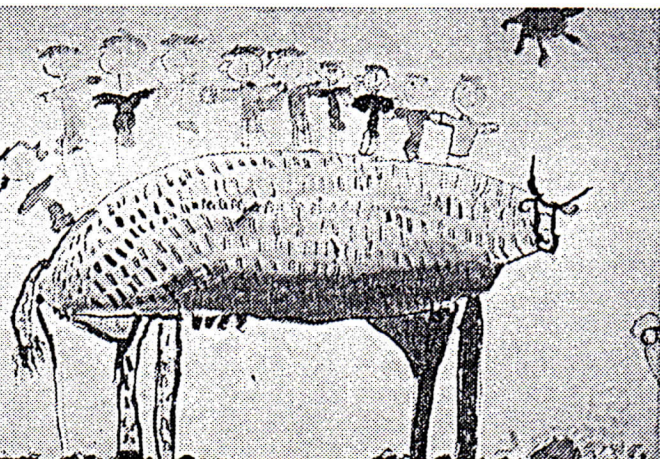
牛の親子、SL描く
鍋島洗一
ちゃん



鍋島洗一ちゃんの「おかあさんのうし」



小島友幸ちゃんの「きしゃ」



熊瀨祥行ちゃんの「牛を見に行ったよ」



西川誠ちゃんの「あめふり」



鍋島 洗一
ちゃん



西川 誠
ちゃん



小島 友幸
ちゃん



熊瀨 祥行
ちゃん

「第11回世界児童画展」(美術文化協会、日本テレビ文化事業団主催、読売新聞社など後援)の入賞・入選者が9日発表され、播磨地方から4人が特別賞に輝いた。

「全国造形教育連盟賞」「おかあさんのうし」佐用保育園 鍋島洗一ちゃん 3歳 (佐用町佐用)

「ええのよ」と、受賞を知らされた洗一ちゃんは「うれしな」とにっこり。保育園では三年前から造形教育に取り組んでおり、今回の入賞は、「その成果」と野村さんはいって

日本国際連合協会賞

「あめふり」

おそろ保育園

西川 誠ちゃん 4歳 (加古川市東神吉町)

昨年六月の雨の日に、保育園の近くの平荘湖へみんなど散歩に行った時、カエルやカタツムリを見つけた様子を水色のマーカー一本で表現した。保母の言葉で「代さん」は「絵を描き始めると声をかけても気づ

かないほど熱中していたと話す。誠ちゃんは「今は大好きな怪獣の絵で費、ほしい」と元氣。

美術文化協会賞

「きしゃ」

マープル幼児ルーム

小島友幸ちゃん 5歳 (加古川市平岡町)

みんなで汽車の話をしながら、黒い煙をはき出し

走るSLなどをクレヨン

描いた。友幸ちゃんは「しはかっこいいから好き

でも本で見ただけだから

本物がみたい」という。

妻孝子教諭は「JR、陽線が自宅近くを通過

り、よく見ているので、

道の絵は得意」と話して

る。

読売新聞社賞

「牛を見に行ったよ」

平福保育園

熊瀨祥行ちゃん 5歳 (佐用町平福)

昨年十月、園児三十四人がマイクバスで県立佐高農業科へ動物を見に行った時の作品。最初はブタをかくていたが、変更したいう。保母の岡本美智子(さん)から入賞を聞いた祥行ちゃんは「うれしうな、うれしうな」と嬉しうが、好きで、かきあげると岡本さんに「先生、できたよ」と見せている。